

# 令和5年度 第13回 直江津区地域協議会

## 次 第

日時：令和6年2月6日（火）**18:00 - 19:00**

会場：レインボーセンター 第三会議室

1 開 会 **18:00 - 18:02**

2 会長あいさつ **18:02 - 18:05**

3 議 題 **18:05 - 18:55**

### 【自主的審議事項】

- ・直江津まちづくり構想について  
（上越市通年観光計画（案）について）

4 その他 **18:55 - 19:00**

- ・次回地域協議会（案）

2月27日（火）午後6時30分～ レインボーセンター 第三会議室

- ・地域協議会活動報告会

3月 3日（日）午後1時30分～ レインボーセンター 第三会議室

※終了後、地域協議会を開催

5 閉 会

# 上越市通年観光計画(案)

---

# — 目 次 —

|                                 |                     |
|---------------------------------|---------------------|
| 第1章 上越市通年観光計画の概要 ……3            | 第3章 通年観光の基本方針 ……45  |
| 1 計画の概要 ……4                     | 1 基本方針 ……46         |
|                                 | 2 春日山地域の方向性 ……54    |
| 第2章 上越市における通年観光の背景 ……8          | 3 直江津地域の方向性 ……62    |
| 1 上越市の課題 ……9                    | 4 高田地域の方向性 ……69     |
| 2 国の観光施策 ……13                   | 第4章 地域別施策 ……76      |
| 3 上越市の観光の現状 ……16                | 1 観光地域づくりコンセプト ……77 |
| 4 春日山地域の現状 ……24                 | 2 春日山地域の施策 ……80     |
| 5 直江津地域の現状 ……29                 | 3 直江津地域の施策 ……88     |
| 6 高田地域の現状 ……34                  | 4 高田地域の施策 ……94      |
| 7 主なまちづくりの経緯と今後の<br>主要イベント ……39 | 付属資料 ……100          |

# 第1章 上越市通年観光計画の概要

---

# 1 計画の概要

---

# 上越市通年観光計画の概要-上越市の観光地域づくり-

## 1 計画期間

令和6(2024)年度～令和12(2030)年度

## 2 基本方針

### ■ 通年観光の考え方

- 目指す姿 : 歴史・文化の伝承  
 目的(あるべき姿) : 来訪者が市民の日常に溶け込み楽しむ観光地域  
 目標(具体的指標) : 繁忙期(4月、7月、8月)以外の入込客数の底上げ  
 手段(目標を達成するための方法) : 観光地域づくり

### ■ 上越市の観光地域づくりの概要

- ①「まち・暮らしづくり」と「新しい観光産業の創出」の両立を図る。
- ②1日からの住民をまちに迎える。  
 まずは、日帰り観光から1～2泊の宿泊観光を目指す。
- ③ビジネスが生まれやすいコンスタントな集客を目指す。
- ④通年観光の効果が地域全体に及ぶよう取り組む。

### ■ 観光地域づくりコンセプト

- 全体 ”越後の都 誇れる上越の3つの暮らしと心意気”
- 春日山 ”義の心と強さに出会う「謙信公の春日山城」”
- 直江津 ”歴史と人情の「日本海うみまち」”
- 高田 ”雁木でつながる「花咲く共助の城下町」”

## 3 計画の目標(令和12年度)

- 当面目標とする通年観光のイメージ  
 「継続的な集客により民間ビジネスや観光サービスが生まれ始める状態」
- 数値目標

|         |                     |                                |                                   |
|---------|---------------------|--------------------------------|-----------------------------------|
| 通年観光計画  | 3地域の月別観光客数(イベントを除く) |                                | (令和元年度比)1.3倍                      |
|         | 一人当たり観光消費額          | 県外日帰り                          | (令和元年) 4,345円 → (県水準) 11,000円     |
| 県外宿泊    |                     | (令和元年) 17,380円 → (県水準) 35,000円 |                                   |
| 第7次総合計画 | 4-2-1観光振興の強化        | 市内への観光客入込数                     | (令和元年-3年平均) 3,170千人 → 6,040千人     |
|         |                     | 観光消費額                          | (令和元年-3年平均) 10,500百万円 → 25,400百万円 |
|         |                     | 上越観光Naviの閲覧件数                  | (令和3年度) 1,575,000PV → 1,890,000PV |

## 4 主な施策

【総概算事業費4,919百万円】

### ■ 春日山地域 【概算事業費3,680百万円】

- ✓ 植林伐採
- ✓ (仮称)馬場広場改修
- ✓ 「総構」復元整備
- ✓ 観光拠点施設整備

### ■ 直江津地域 【概算事業費1,005百万円】

- ✓ 直江津D51レールパーク拡充整備(鉄道博物館)
- ✓ D51形蒸気機関車75号機 移設・動態保存
- ✓ 直江津屋台会館・海浜公園利活用社会実験・自立的な事業スキームの検討
- ✓ 船見公園環境整備

### ■ 高田地域 【概算事業費 234百万円】

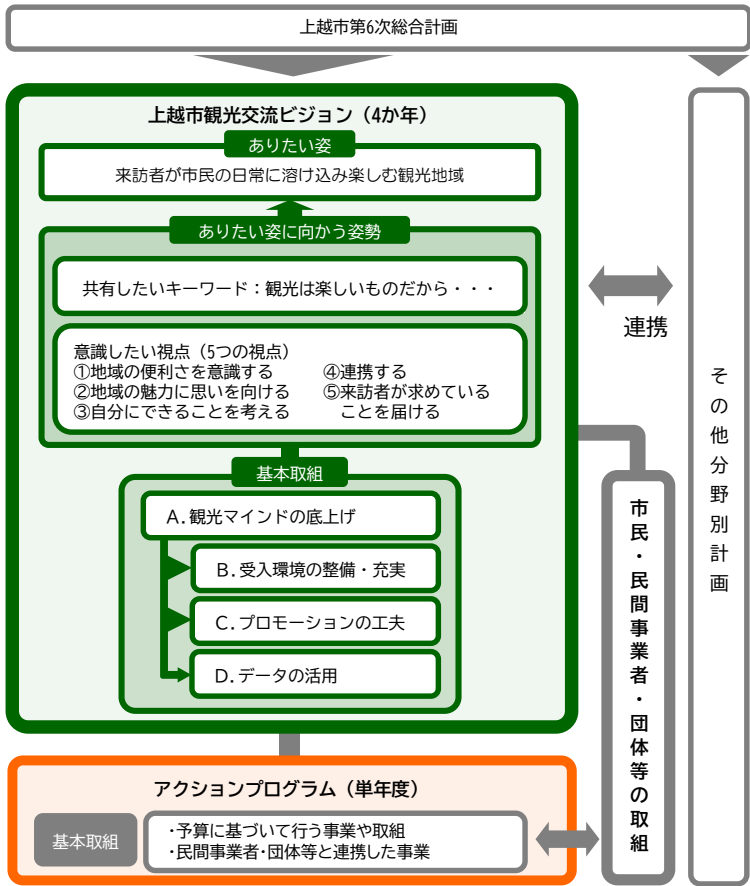
- ✓ 雁木・町家の保全に取り組む持続可能なまちづくり組織の検討
- ✓ 観光案内在り方検討
- ✓ 浄興寺大門通りの景観整備
- ✓ 枅形門再現可能性調査研究

# 計画の位置づけ

## 【令和2年度～令和5年度】

### 「上越市観光交流ビジョン」※策定当時

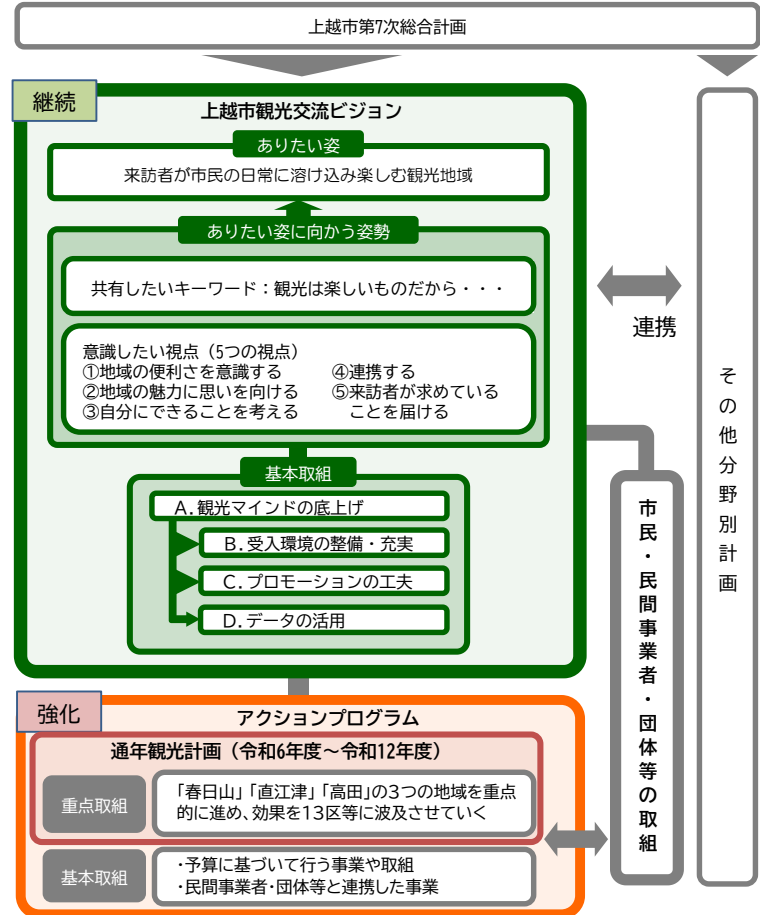
- 「上越市観光交流ビジョン」は、市民が共有したい「ビジョン」に焦点をあてるものです。ここでいう「ビジョン」とは、「ありたい姿を描いたもの。理想像。未来像。」との意味で用いています。
- 本ビジョンの期間は4か年とし、次期総合計画の策定(予定)や、今後の観光の動向などを踏まえ、見直しについて検討します。
- 本ビジョンに基づき行政が行う事業や民間事業者・団体等が行政と連携して取り組む事業を取りまとめた「アクションプログラム」をこれとは別に毎年度作成します。
- ビジョンの体系は、下図のとおりです。



## 【令和6年度～令和12年度】

### 「上越市観光交流ビジョン」

- 「ありたい姿を描いたもの。理想像。未来像。」の意味である「ビジョン」は、進むべき道標として令和6年度以降も見直すことなく目指していきます。
- また、上越市第7次総合計画の基本目標の1つである「魅力と活力があふれるまち」は、本ビジョンで共有したキーワードや意識したい視点、基本取組を継続的に取り組んだ結果として現れる“まちの様子”です。
- 令和6年度からは、単年度としていた「アクションプログラム」に通年観光の実現に向けた重点取組を加えてさらに強化します。
- 見直し後のビジョンの体系は、下図のとおりです。

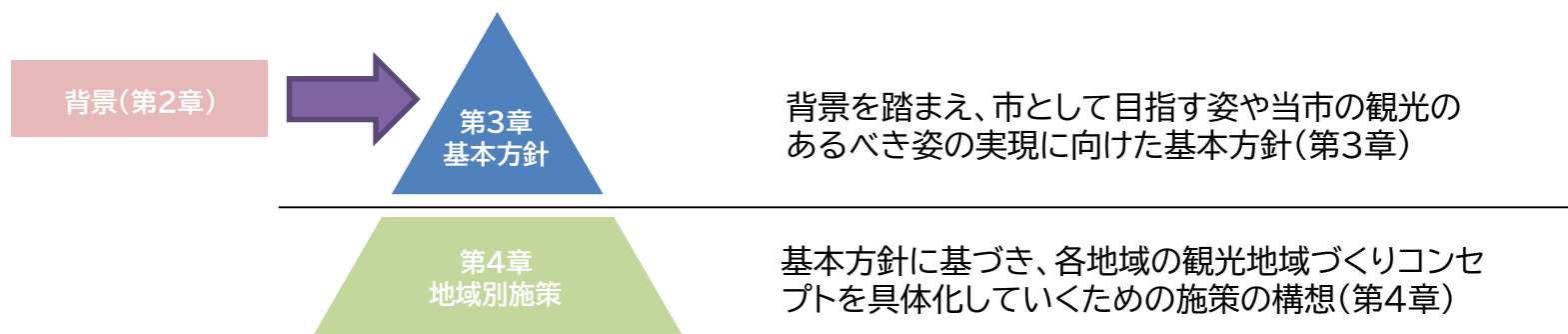


# 計画の構成と計画期間の考え方

## 計画の構成

本計画は、4つの章で成立しており、第1章、2章では主に外形的な項目を整理し、計画の基本事項を示した「上越市通年観光計画の概要」と、当市の課題や観光の現状等を示した「上越市における通年観光の背景」で構成している。

第3章、4章では、前半の背景を踏まえ、市として目指す姿や当市の観光のあるべき姿の実現に向けた「通年観光の基本方針」と、基本方針に基づき各地域の観光地域づくりコンセプトを具体化していくための施策の構想を示した「地域別施策」で構成している。



## 計画期間の考え方

計画期間は、上越市第7次総合計画の計画期間(令和5年度から令和12年度まで)と終期を合わせ、令和6年度から令和12年度までの7年間とする。

計画の構成のうち、「第3章 通年観光の基本方針」は令和12年度を超えて将来的に目指す姿を見据えた基本方針とし、「第4章 地域別施策」は令和12年度までに具体化を目指す施策の構想とする。ただし、施策の事業化にあっては、財源及び優先順位の検討により計画期間内における実施を判断する。



## 第2章 上越市における通年観光の背景

---

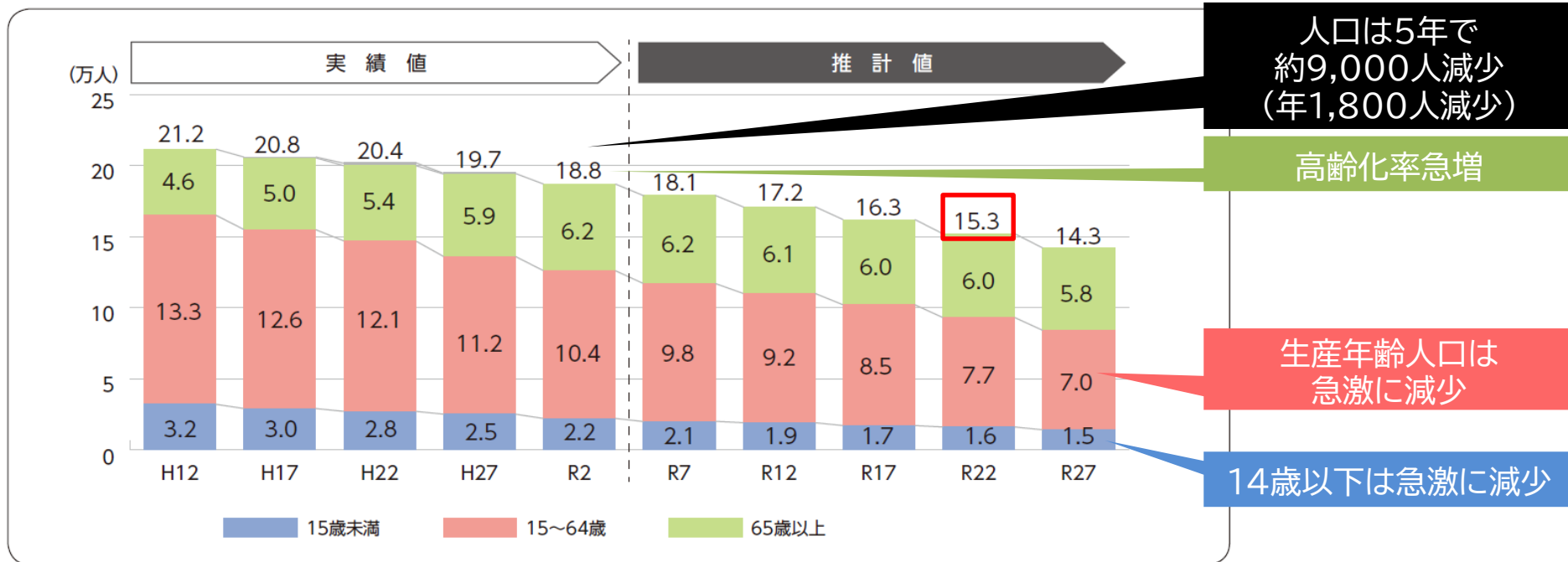
# 1 上越市の課題

---

# 上越市の人口減少

- 令和22年には約15万人程度の人口となり、将来的に当市の人口は、全ての年齢層において減少していく。
- 人口減少の影響として、空き家の増加やそれに起因する街並みの喪失などが懸念される。

【上越市の将来推計人口】



出所：総務省「国勢調査」及び、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（H30年3月推計）」により作成  
備考：平成27年、令和2年の数値は不詳補完値

※上越市の人口は、現在182,911人(令和6年1月1日住民基本台帳ベース)

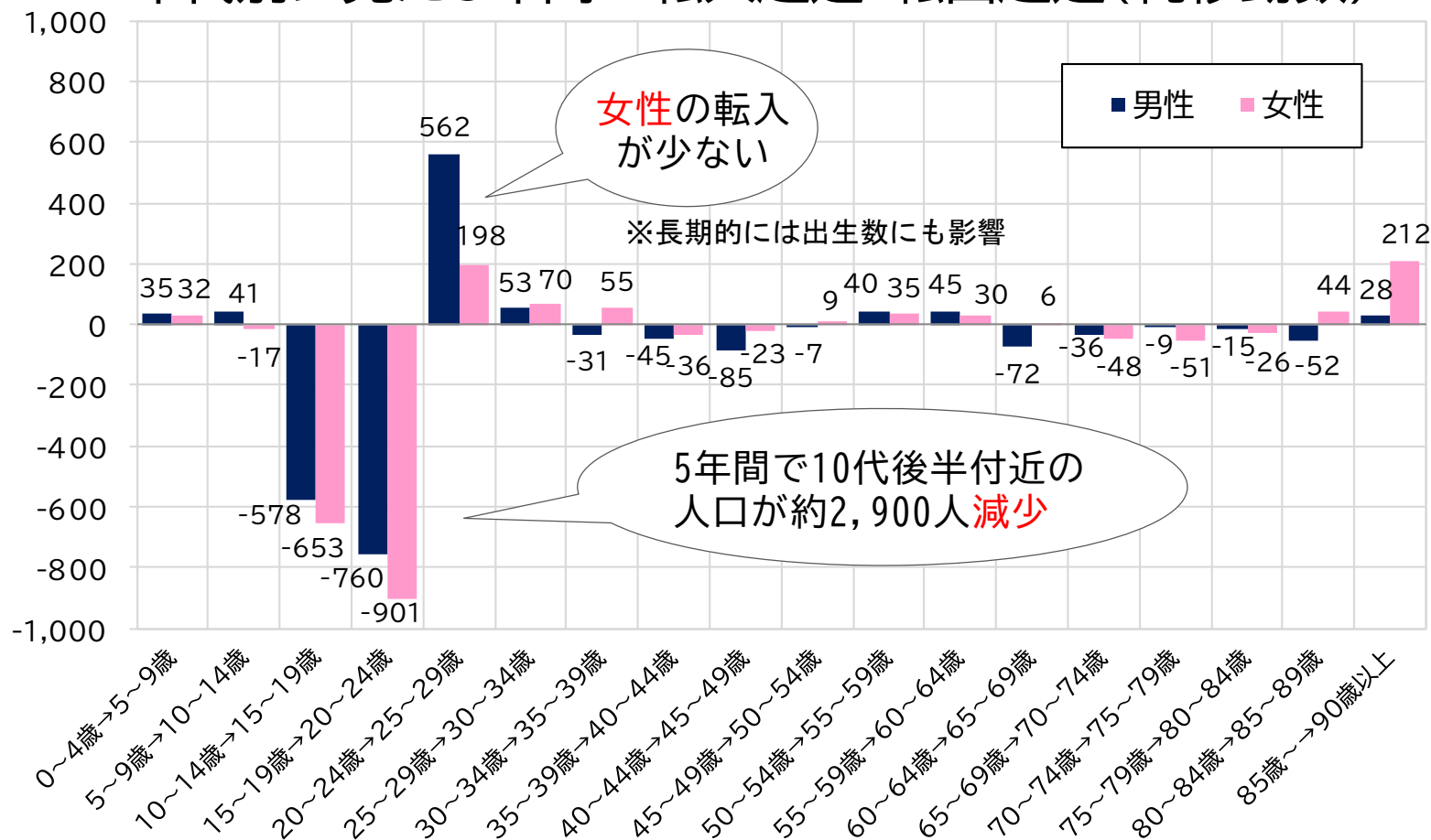
上越市の人口減少＝地域経済規模(地域の活力)の縮小

定住人口消費額: 130万円/人 × 約1,800人/年 = 約23.4億円/年の減少 (5年で約117億円減少)

# 年代別の社会増減の状況

- 人口減少の要因のうち社会減少では、10代の転出が多く、20代の転入がややあるものの、全体では転出超過であり、特に若年女性の転出超過が顕著となっている。
- 対策の一つとして、若年女性が働きたくなる場の創出や女性が起業しやすい環境の構築が重要である。

(人) 年代別に見た5年間の転入超過・転出超過(純移動数)



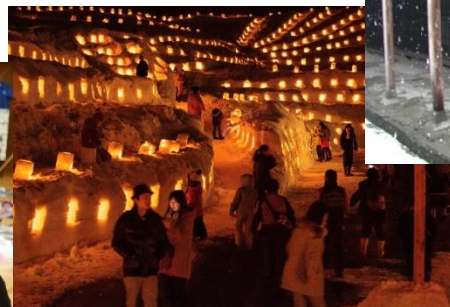
出所：純移動数は、平成22年と平成27年の総務省「国勢調査」人口と生残率を用いて推定した値

- 人口減少とともに地域資源の担い手も減少し、地域の生業や歴史・文化の伝承が課題となっている。



地域資源を守り・いかす担い手が減少

地域の生業(なりわい)や  
歴史・文化の伝承の危機





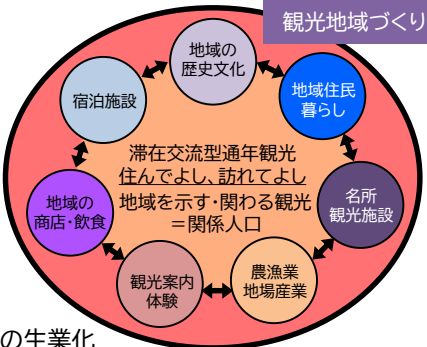
## 2 国の観光施策

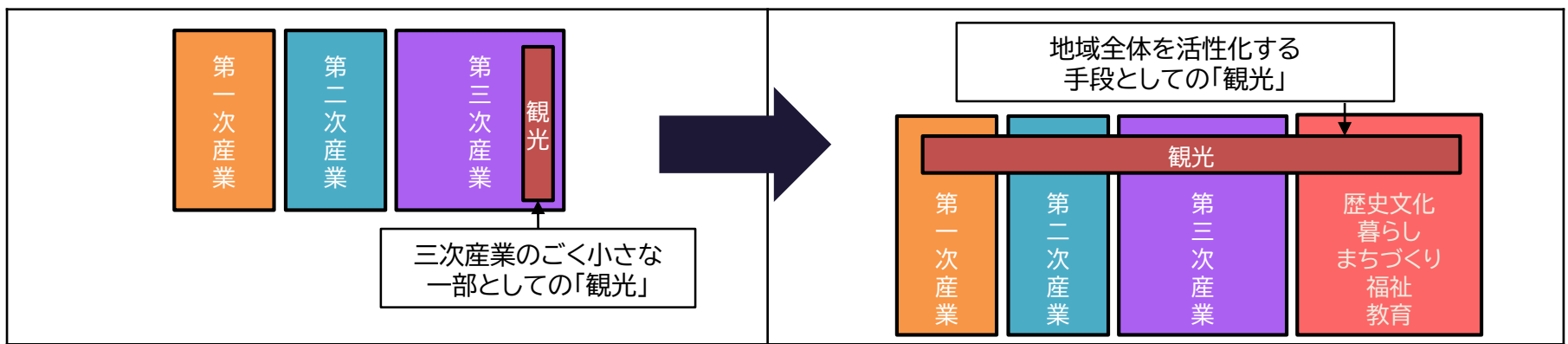
---





○ 従来型の観光地づくりではなく、観光地域づくりに向けた取組を進めていく。

| 【従来型の観光】<br>名所や観光施設等のスポット型な「観光地づくり」                                                                                                                                                                               | 住んでよし、訪れてよしの面的な「観光地域づくり」                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>団体中心・見学<br/>狭義な観光<br/>国内客中心</p>  <p>観光地づくり</p> <p>名所・観光施設<br/>宿泊施設</p> <p>地域を見る観光</p> <p>観光施設だけ<br/>でのおもてなし<br/>観光施設だけが潤う</p> | <p>個人中心・文化・交流<br/>広義な観光<br/>国内客+国外客</p>  <p>観光地域づくり</p>  <p>地域全体で<br/>おもてなし<br/>(交流型)</p> <p>地域全体が潤う＝地域の生業化</p> |
| 光を見る観光(名所や観光施設を見る)                                                                                                                                                                                                | 光を示す観光(豊かな地域の文化や暮らしを感じ交流する)                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 狭義な観光＝観光地づくり                                                                                                                                                                                                      | 広義な観光＝観光地域づくり                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 団体旅行・国内観光客                                                                                                                                                                                                        | 個人旅行・国内に加えてインバウンド                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 観光スポットを見る・季節観光                                                                                                                                                                                                    | 地域全体に関わる・感じる・通年観光                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 観光業者が主体(施設だけでのおもてなし)                                                                                                                                                                                              | 地域・住民が主体(地域全体でおもてなし)                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 観光事業者だけが潤う                                                                                                                                                                                                        | 地域全体が潤う＝地域の生業に                                                                                                                                                                                                                                                                        |





### 3 上越市の観光の現状

---

# 旅行消費額は相対的に低い現状にある

- 旅行消費額は非常に少ない。
- 滞在場所・滞在時間が少ないことが、消費場所・消費機会が少ないことにつながっている。

## 旅行消費額(円)

|        |     | 上越市 |        |           | 新潟県    | 全国      |
|--------|-----|-----|--------|-----------|--------|---------|
| 国内旅行者  | 日帰り | 県内  | 3,168  |           | 4,823  | 17,334  |
|        |     | 県外  | 4,345  | ← 1/2以下 - | 10,824 |         |
|        | 宿泊  | 県内  | 13,167 | ← 約1/2 -  | 25,133 | 55,054  |
|        |     | 県外  | 17,380 | ← 約1/2 -  | 34,713 |         |
| 外国人旅行者 | 宿泊  |     | -      |           | -      | 158,531 |

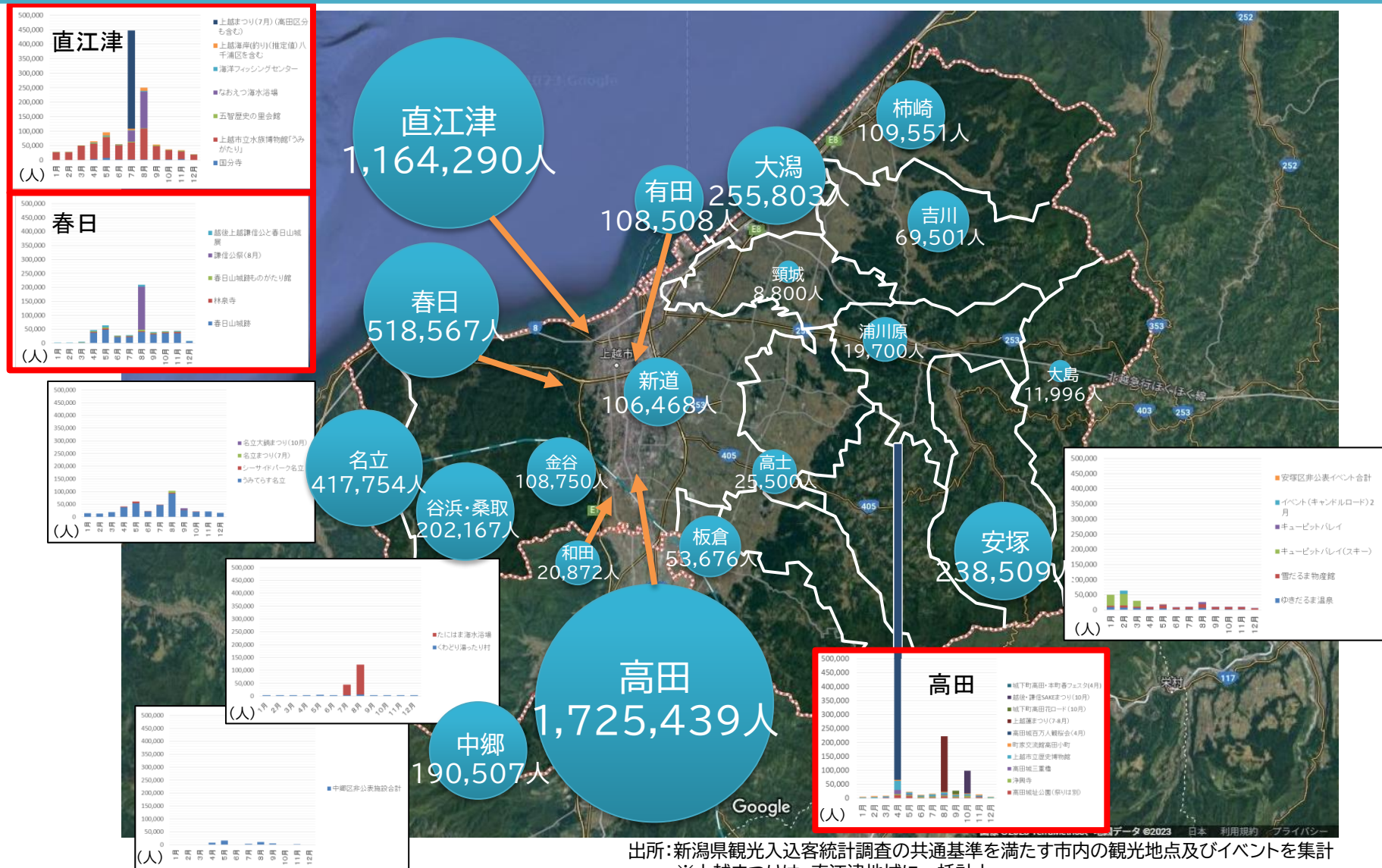
出所:上越市観光データ集  
2021(2019年データ)

出所:全国観光入込客統計  
2019

出所:旅行・観光消費動向  
調査2019、訪日外国人消費  
動向調査2019

# 地域別観光入込数(令和元年)

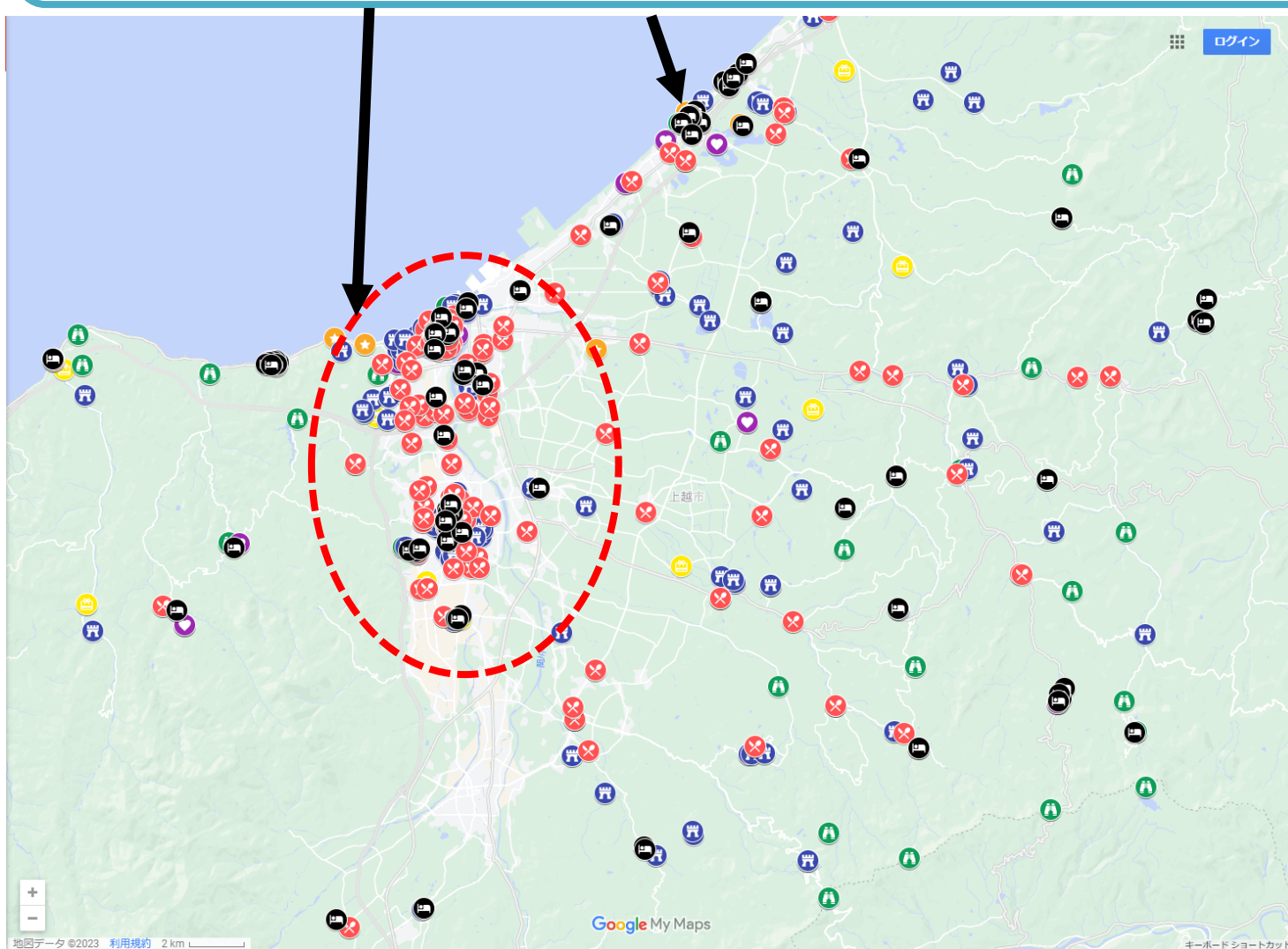
- 市内の観光入込数は、最も多い順から高田、直江津、春日山となっている。
- 一方で、いずれの地域も月別の変動が大きい。



出所:新潟県観光入込客統計調査の共通基準を満たす市内の観光地点及びイベントを集計  
※上越まつりは、直江津地域に一括計上

# 地域資源が集中する3地域

- 高田・直江津地域に観光資源が集中するが、13区にも分布する。
- 宿泊施設も同様の傾向。鵜の浜温泉を始め13区にも点在する（第三セクター施設は冬期休館等が多い）。



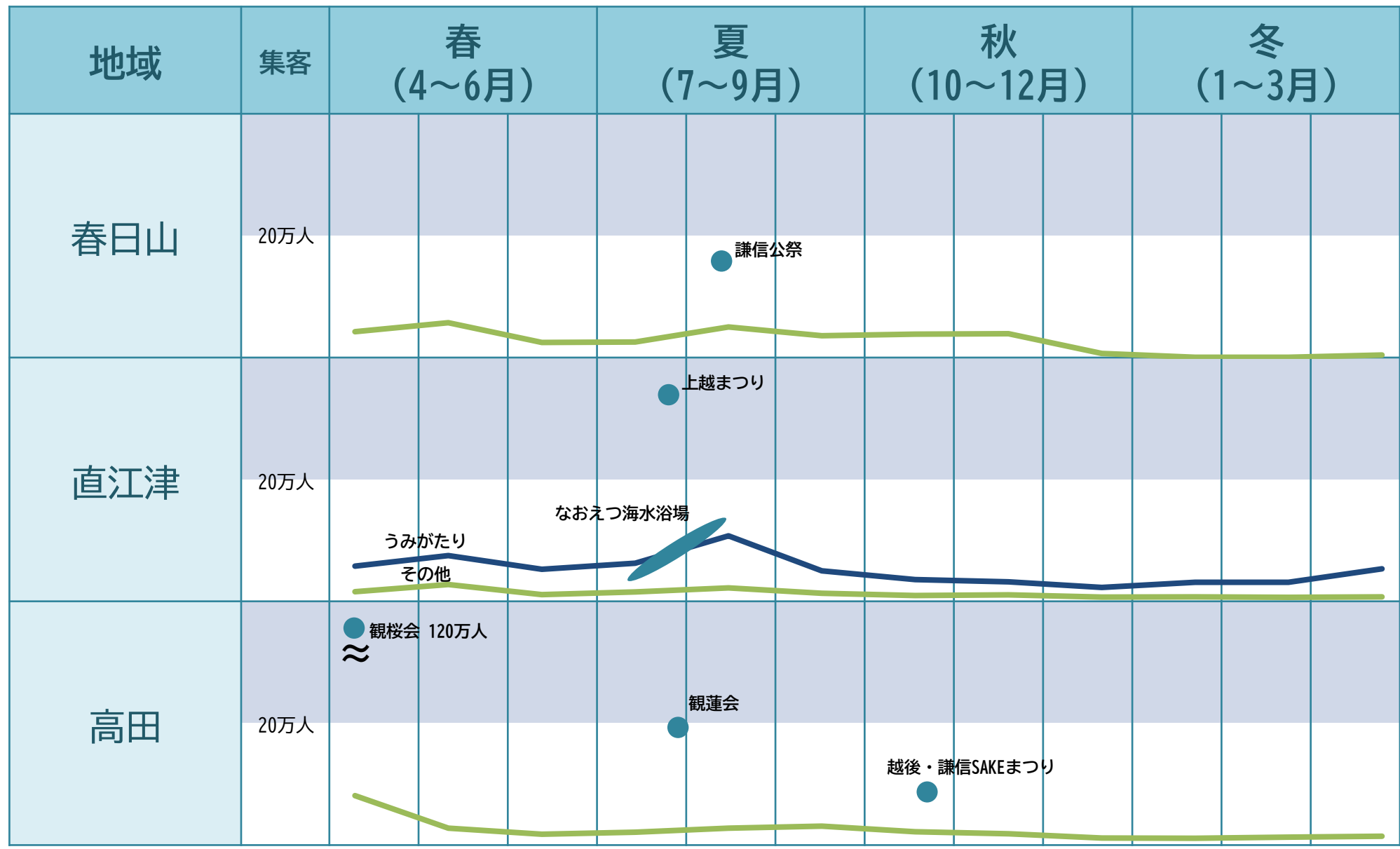
## 凡例

-  土産・物産
-  レジャー・スポーツ
-  自然景観
-  体験
-  歴史文化
-  【地産地消】居酒屋
-  【地産地消】飲食店
-  宿泊

| 資源区分       | 施設数 |
|------------|-----|
| ①土産・物産     | 50  |
| ②レジャー・スポーツ | 61  |
| ③自然景観      | 64  |
| ④体験        | 31  |
| ⑤歴史文化      | 108 |
| ⑥【地産地消】居酒屋 | 16  |
| ⑦【地産地消】飲食店 | 233 |
| ⑧宿泊        | 89  |

出所：⑥⑦地産地消推進の店（農政課）、  
⑧市調査、その他は上越観光Navi

# イベントへの依存傾向が課題

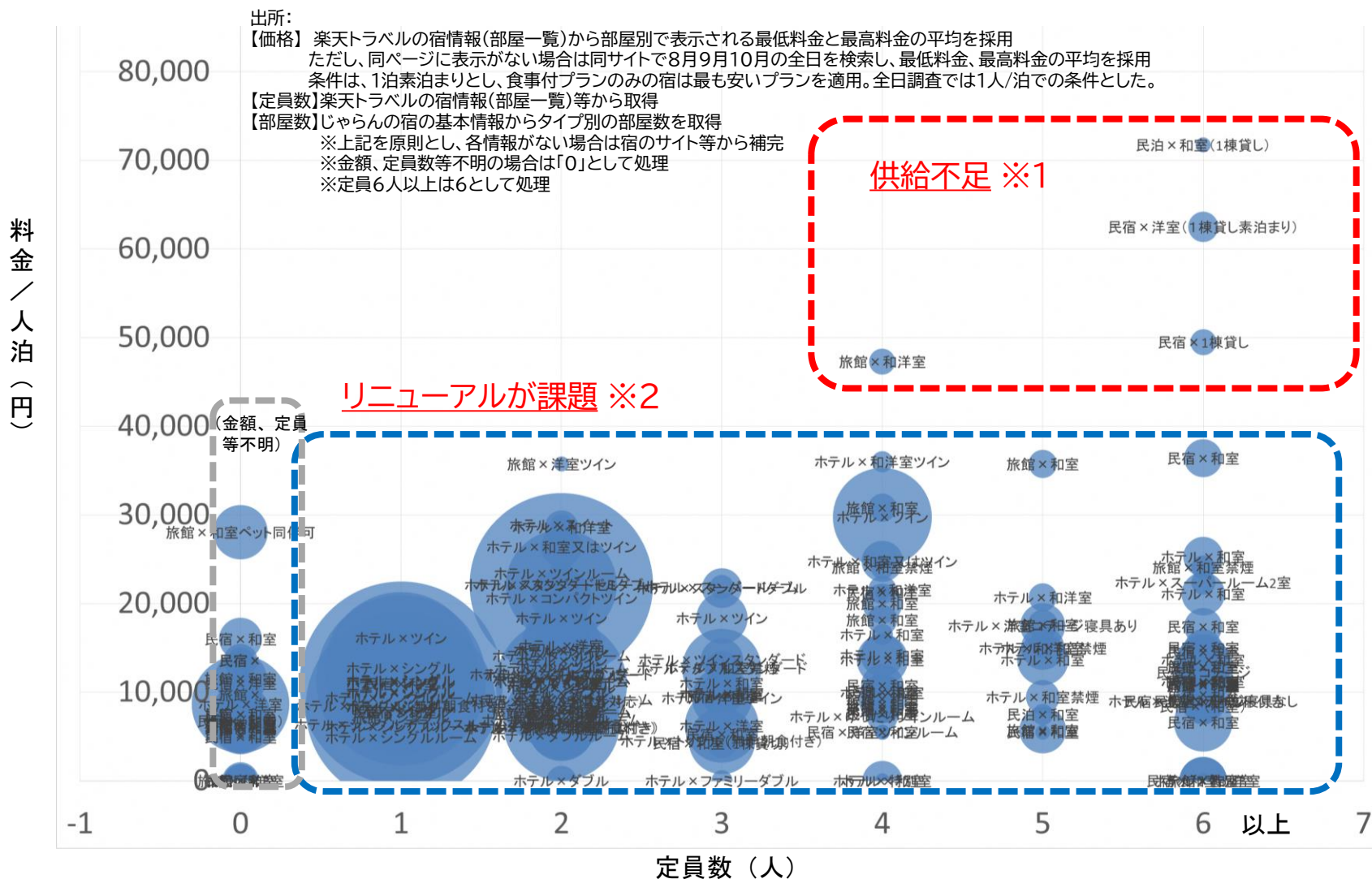


出所:新潟県観光入込客統計調査の共通基準を満たす市内の観光地点及びイベントを集計(令和元年の数値を基に作成)  
 ※上越まつりは、直江津地域に一括計上



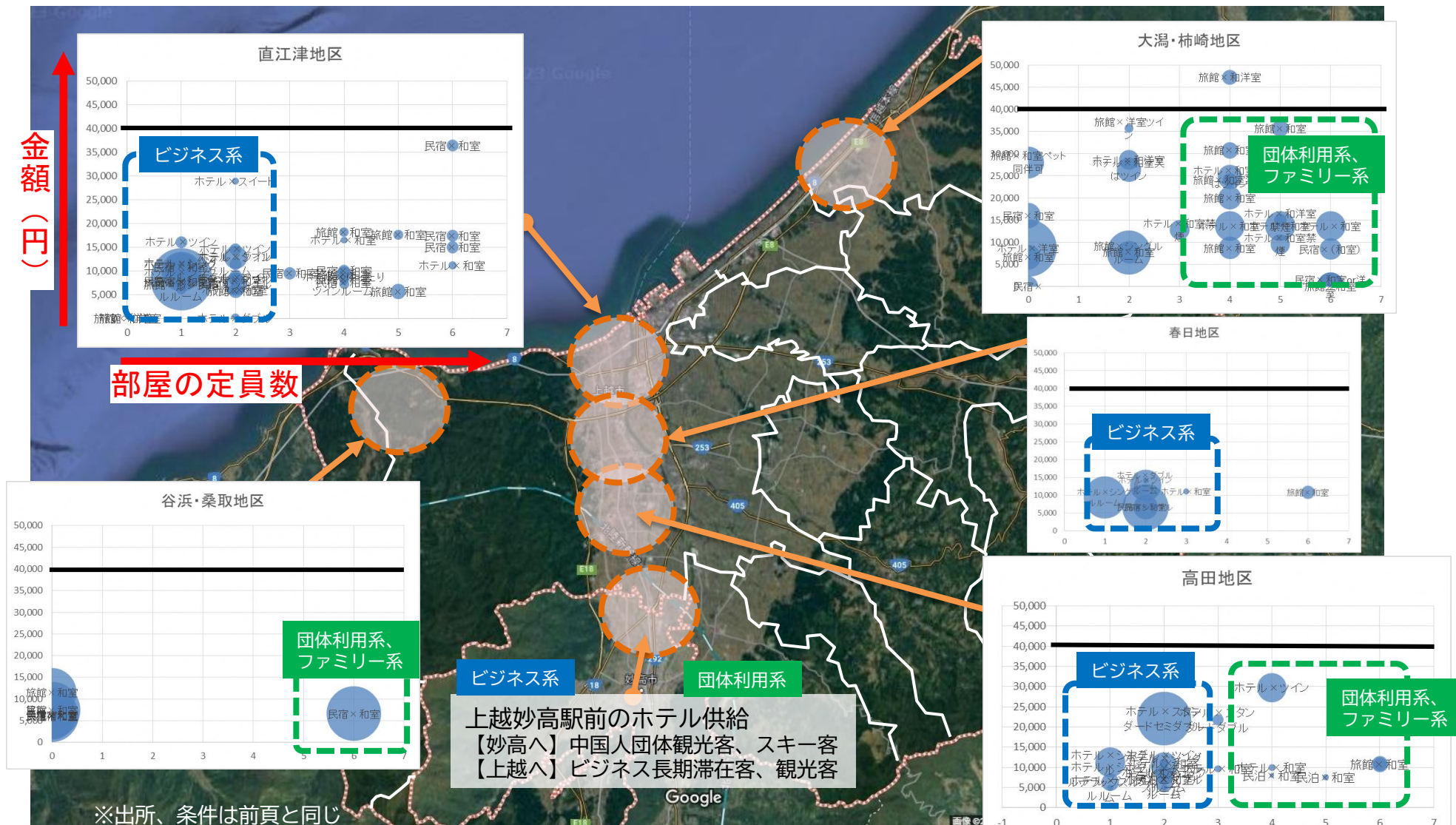
# 宿泊施設の定員と価格帯の分布

- 高価格帯の宿泊施設(いわゆるラグジュアリーホテル)が市内には少なく、インバウンド客等とミスマッチ状態であり供給不足 ※1
- ビジネス系やファミリー系の宿泊施設は比較的古くから営業されているところが多く、リニューアルが課題 ※2



# 宿泊施設の定員と価格帯の分布(主要エリア)

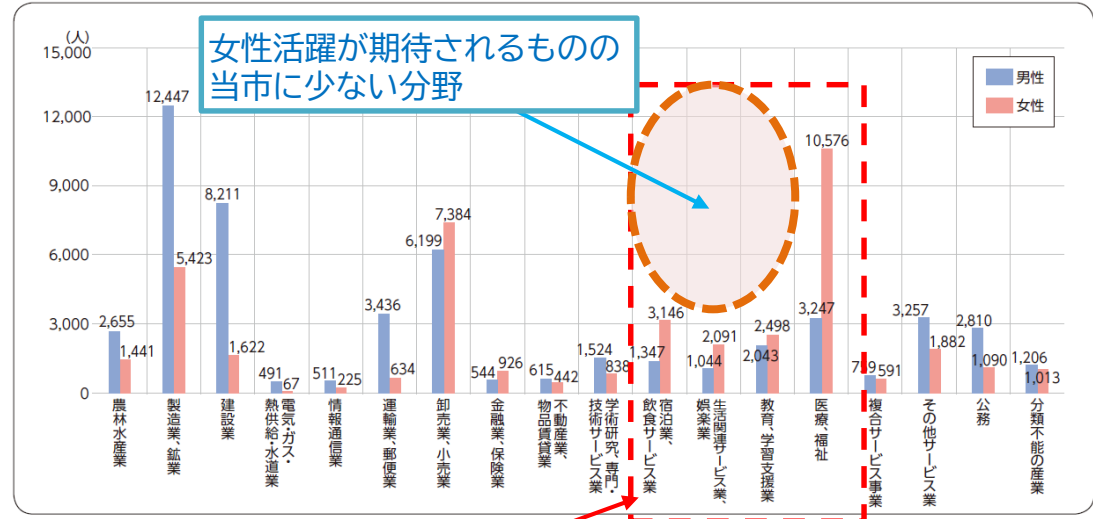
- 大潟・柿崎地区には旅行客向けの施設はあるものの、直江津地区には多人数の家族や団体が宿泊する団体利用系やファミリー系が少ない。
- 高田地区にはビジネス系とファミリー系が立地するが、高価格帯のラグジュアリー系がない。



# 上越市の性別・産業別就業者数

- 当市の観光関連産業は就業者が少ない分野
- 観光・教育関連産業の成長は、女性が活躍しやすい環境整備につながる可能性がある。

上越市の性別・産業別就業者数(令和2年)

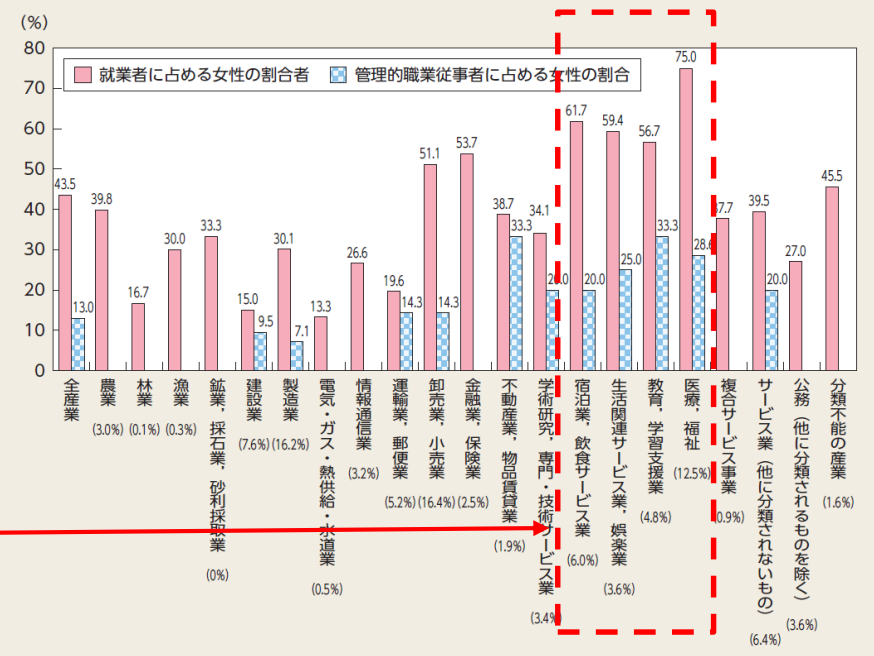


出所：上越市第7次総合計画

就業者、管理的従事者ともに女性の割合が高い職種  
(≡女性の活躍が期待される職種)

- ・宿泊業・飲食サービス業
  - ・生活関連サービス業・娯楽業
  - ・教育・学習支援業
  - ・医療・福祉
- 観光関連産業

## 就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合



(備考) 1. 総務省「労働力調査(基本集計)」(平成28年)より作成。  
 2. 管理的職業従事者とは、就業者のうち、会社役員、企業の課長相当職以上、管理的公務員等を指す。  
 3. 産業名の下に記載されている( )内の%は、全産業の就業者に占める当該産業の就業者の割合を示す。

出所：平成29年版男女共同参画白書